

稲作ワンポイントアドバイス(No8)

令和4年8月15日
JA山口県長門統括本部
長門農林水産事務所農業部

1 生育等の状況

- 定点調査では、コシヒカリ・ひとめぼれの出穂期は平年に比べ5～7日早く、きぬむすめ・あきだわらの出穂期は平年に比べ1～3日早くなりました。
- いもちが発生しているほ場は多いですが、拡大はしていない傾向です。
- 紋枯病がイネの上の部位まで上がって来たほ場があります。
- 斑点米カメムシ類の注意報が発令されています。
- トビイロウンカの主な飛来日は7月19日で、少飛来です。

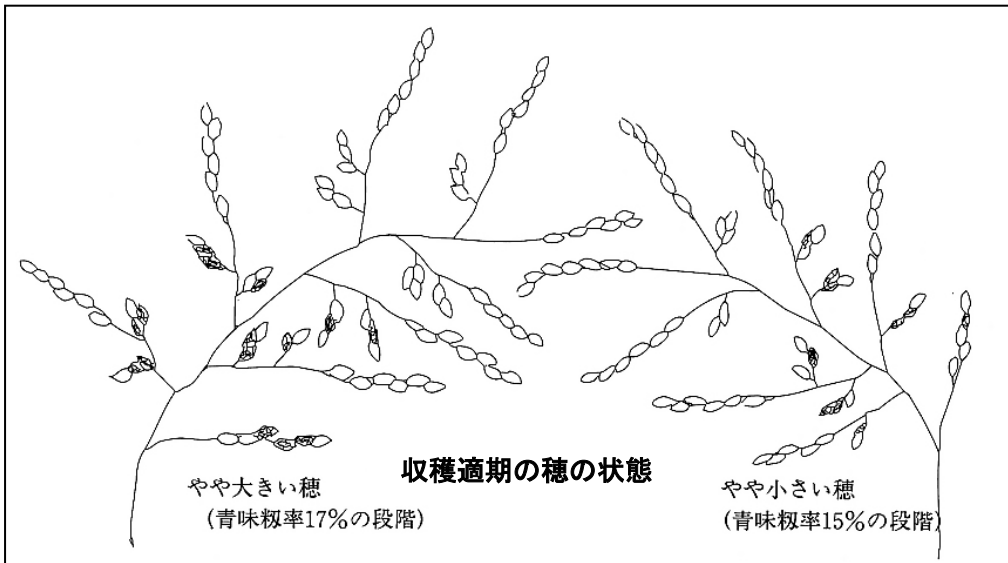
病害虫発生予報（8月10日 山口県病害虫防除所発表）

穂いもち やや多 **注意報** セジロウンカ やや少 コブノメイガ 平年並
紋枯病 やや多 トビイロウンカ やや少 **斑点米カメムシ類** やや多 **注意報**

2 今後の管理のポイント

(1) コシヒカリ・ひとめぼれ

- 今年は出穂が早く、出穂後高温が続いているため、**収穫が平年より早まります。コンバインや乾燥調製施設等の準備は早めに行いましょう。**
- 品質低下を防ぐため、**収穫7日前まで間断かん水を行いましょう。**
- 青味籾率15～10%の時期に**収穫を行いましょう。**



【参考】積算気温から見た収穫適期（実測値以降は過去5年の平均気温で計算）

	出穂期(ほ場の内、50%の穂が出た日)							
	7/20	7/22	7/24	7/26	7/28	7/30	8/1	8/3
油谷アタス	8/21～ 8/23	8/23～ 8/25	8/25～ 8/27	8/27～ 8/29	8/29～ 8/31	8/31～ 9/2	9/2～ 9/4	9/5～ 9/7
豊田アタス	8/23～ 8/24	8/25～ 8/26	8/26～ 8/28	8/28～ 8/30	8/30～ 9/1	9/2～ 9/3	9/4～ 9/6	9/6～ 9/8

※今後の気温や穂の形によって前後します

(2) きぬむすめ・あきだわら

- 出穂後20日までの間、カドミウム吸収抑制のため、田面が乾かない水管理を行いましょう。

(3) 病害虫の管理

- ほ場をよく観察し、葉いもち・穂いもちの病斑を見つけたら、速やかに防除を行いましょう。（収穫前日数に注意）
特にあきだわらでは注意が必要です。



- 斑点米カメムシ類の注意報が発令されています。穂揃期（穂が8割出た頃）とその7日後の防除を徹底してください。



クモヘリカメムシ
体長 15-17mm



ホソハリカメムシ
体長 9-11mm



アカスジカスミカメ
体長 4.6-6mm



イネカメムシ
体長 12-13mm

近年県内で増加中

(4) その他

- こまめに水分と休憩を取り、熱中症を予防しましょう。
- 強風が予想される場合は、水利上可能ならば、株の脱水を防ぐため湛水しましょう。

長門の水稻の病害虫発生状況、生育状況等をLINEにより発信しています。

